

平成24年4月、兵庫医科大学病院は開院40周年を迎えます

急性期医療を担う大学病院として 二人主治医制をお奨めします



兵庫医科大学病院 太城 力良 病院長

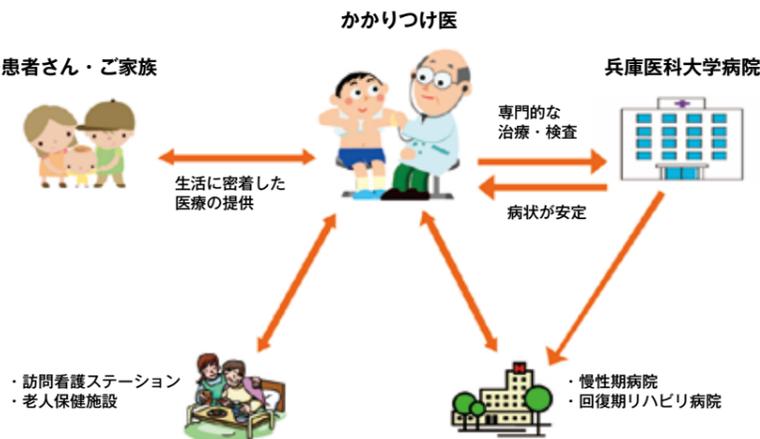
平成23年は東北地方で発生した未曾有の大震災があり、当院においては震災当日に災害派遣医療チームの派遣を決定し、それに続いて合計5班の救護医療チームを被災地の救護所に派遣し救護活動を行いました。さらに、岩手県立宮古病院や高田病院への応援医師の派遣も致しました。このような災害拠点病院としての機能を維持すべく、日頃より防災訓練・トリアージ訓練を実施しております。

今年度は本学の開学40周年、病院も同様に開院40周年の節目を迎えることとなり、記念誌の編纂を初めとした各種記念事業を計画しております。これに関連して、西宮キャンパスの本格的再整備の第一歩として10号館東側に「急性医療総合センター」を建設中で本年12月に竣工を予定しております。急性医療総合センターについては、すでに病院NEWS12号でもお伝えしておりますが、地上7階、地階なしの建物で、災害拠点病院としての役割を充実させ、地震や洪水の際にも急性期医療の中核をなす救命救急センター・手術センター・IVR

（血管内手術）センター、周産期センター、集中治療センターなどの施設を内包しております。現在は地中18mに及ぶコンクリート杭の工事も完了し、また、地震の際の建物の揺れを最小限にとどめるための免震装置も設置され、震災や台風の影響により懸念された建設工程の遅れもなく、平成25年6月のオープンに向けて順調に工事が進んでおります。

当院は、大学病院本院、「特定機能病院」として厚生労働省から承認を受け、高度で先進的な医療を行う役割を担っております。これは医療機関がそれぞれの役割を分担して、その機能を活かし、患者さんの症状に合った医療を提供するという国の政策に基づくものです。当院は急性期医療の役割を担うと共に、高度医療の開発研究とその臨床応用という使命を持ち、安全・安心で質の高い医療を提供する中で地域の医療機関との円滑な連携に努めております。

前記の目的を果たすために、私どもは、全ての患者さんに「二人主治医制度」をお奨めしています。すなわち、当院では急性期医療、専門的治療を提供させていただき、病状が落ち着いたら後は、数か月から1年程度の間隔で定期的なチェックをさせていただき、当院の「主治医」と、患者さんがご自宅の近くで継続的におかかりになる「主治医（かかりつけ医）」の二人の主治医制



度です。前述のとおり、当院は急性期の患者さんを受け入れる役割にありますが、医療は日々進歩しております。まだまだ治療が難しい症例も多々あります。大学病院としてそのような患者さんの病気を治療すると同時に、治療方法などの研究と学生教育を積み重ねていかなければならない責務もあります。ぜひ、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。なお、かかりつけの先生からご依頼があれば、いつでも必要な診療をさせていただきますことを念のため申し添えます。

合同防災訓練を実施しました。

兵庫医科大学病院では、災害拠点病院として近隣で災害が発生した場合に備え、毎年防災訓練を実施しております。

平成24年1月13日（金）、午前中は本学医学部の学生（4年生）が患者役と医師役を交代しながらトリアージ訓練を行い、午後からは、病院の医師や看護師などの医療従事者と患者役に扮した医学部学生が参加する、合同防災訓練を実施しました。

■午前の部 学生のトリアージ訓練

【訓練概要】
全体でのガイダンス終了後、患者役がムラージュ（ケガの状態をリアルに特殊メイクすること）を行い、1回目のトリアージ訓練を実施しました。その後1回目の患者役と医師役を交代して2回目の防災訓練に患者役などで参加しました。



兵庫医科大学医学部4年生によるトリアージ訓練の様相

■午後の部 医師・看護師など医療従事者と学生による合同防災訓練

【訓練概要】
踏切で立ち往生した車両に列車が衝突し、列車が脱線する事故が発生し、多数の負傷者が当院に搬送されてきた場合を想定して訓練を実施しました。訓練の場となった10号館北入り口周辺には、学生や医師、看護師をはじめとした医療従事者、事務職員など約200名が集まり、当院の患者受け入れ体制の訓練を行なうとともに、スタッフマニユアルの多数傷病者対応・初動計画、および各部門のアクションカードの検証も併せて実施しました。



軽症患者役を診察する様子



トリアージをしながら患者役を搬送する様子

臨床工学室 について

臨床工学技士とは

臨床工学技士とは1987年5月に制定された「臨床工学技士法」に基づく医学と工学の両面を兼ね備えた国家資格です。病院ではあまり表舞台に出ることはないのですが、皆様にはなじみが薄いかも知れません。医師の指示の下に、医療機器の操作や保守点検を行う事を業務とし、医師や看護師、その他の職種の方々と共に医療機器を用いた治療における、チーム医療の一員としてサポートしています。臨床工学室には13名

の臨床工学技士が、医療機器を安全に適正に用いるよう日々努力しています。

医療機器のサポーター

大部分の医療機器は医師や看護師により操作されています。臨床工学技士は医療機器が安全に取り扱えるようサポートを行っています。医師や看護師に対して臨床工学技士が安全な使用方法について講義やアドバイスをを行い、医療機器の誤った使用が行われないよう努めています。

チーム医療

現在の医療では様々な医療機器が使用され、年々新たな医療機器が導入されています。特に集中治療室や血液浄化センター、中央手術部などでは、このような医療機器がなくてはならない状況になっていま

す。臨床工学技士はチーム医療の一員として、このような医療機器を患者さんにとつてどのように設定するのが良いか考え、医療機器の設定・操作を行っています。

特に血液浄化装置

(人工透析装置)、人工心肺装置、人工呼吸器という生命維持管理装置に深くかかわっています。



人工心臓装置の操作

医療機器の保守

自動車は定期的に点検を受ける車検があります。しかし医療機器にはそのような法律により強制される点検はありません。当院の臨床工学室では安全な医療機器を提供できるよう主な医療機器の定期的



医療機器のメンテナンス



人工呼吸器の点検

な点検を行っています。また、万一、医療機器にトラブルが生じた時でも、医療機器の専門家である臨床工学技士が24時間サポートできる体制になっています。

医療機器の管理

病院内にある多くの医療機器(305種1466台)の管理を行っています。適切な管理を行うことにより、効率的な運用につながっています。主に病棟で使用する医療機器(人工呼吸器・輸液ポンプ・シリンジポンプ・パルスオキシメータ)などは、臨床

工学室で整備したものを貸出室に設置し、そこから持ち出して使用することになっています。患者さんへの使用が終了すれば臨床工学室に返却され、また整備が行われます。



医療機器貸出室

今後の展望

現在、急性期総合医療センターの建設が進んでおり、救命救急センターや集中治療部門がさらに充実していく予定です。高度な医療を安全に提供する我々の役割は、ますます高まります。皆様の期待にこたえるよう日々努力していきますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

治験センター について

治験センターって何?

治験センターでは、安心して使うことが出来る「薬」が生まれるために、厚生労働省が定めたルールに従って、患者さんの安全を第一に考えながら適正かつ円滑に「治験」が行われるよう支援しています。センター長/内科 肝・胆・膵科 西口主任教授、副センター長/薬剤部 木村部長の下、治験コーディネーター(治験業務を支援する医療スタッフ・薬剤師2名・看護師1名・臨床検査技師1名)4名、事務員6名で担当しています。

治験って何?

病気や傷を治療したり予防するための「薬」になる可能性のある物質「薬の候補」を発見しても「薬の候補」が「薬」として認

められるためには、その効果と安全性を十分に調べなければなりません。まず動物で効果や安全性を十分調べた後に、実際の治療に役立つかどうかを健康な方や患者さんに使っていたり確かめます。

「薬の候補」について

「薬」として認めてもらうために健康な方や患者さんに使っていただき、効果や安全性などを確かめるために行う試験を「治験」と呼んでいます。治験には一般の治療と異なり、研究的な側面があります。

治験によって得られた情報は、新しい薬として厚生労働省へ申請するための資料に使用されます。そして、あなたと同じ病気の多くの患者さんの治療に役立つことにもなります。また、現在使用されている薬は、全て治験を積み重ねることによって生み出されています。

当院では、年間約40件の新しい治験を製薬会社等から受託しており、また募集中の治験には新たに年間約200名の患者さんに治験に参加していただいています。

治験に参加するメリット

デメリットは?

①メリット

- 最新の治療について十分な説明が受けられ、また治験担当医師と治験コーディネーターが患者さんへ細かなケアを行います。
- 通常の診療より詳しい検査が受けられる場合があります。
- 治験薬費用、検査費用等、患者さんの自己負担が少なくなることがあり、また来院にかかる交通費等の負担を軽減するための費用が支払われます。

②デメリット

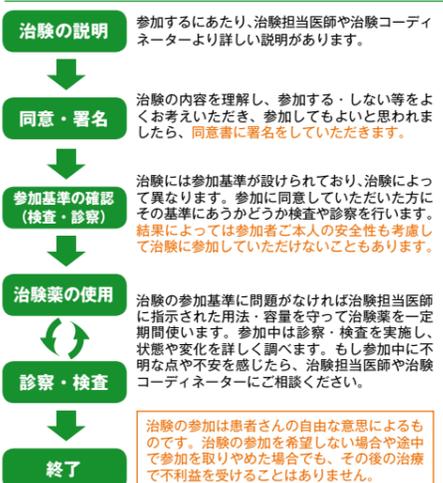
- 治験薬の効果が無効だったり、予期しない副作用が起る場合があります。
- 現在使用しているお薬を止めていただくことがあります。
- 通常の診療より検査の回数が多くなったり、通常の診療より受診回数が多くなることもあります。
- 日誌等をつけていただく場合もあり、患者さん自身にお願いすることが多

治験についてのお問い合わせ窓口

ご相談・お問い合わせについては、2号館2階にある治験センターで治験コーディネーターがお受けいたします。

- ・研究的な側面が多くなるため、比較としてプラセボ(有効成分の入っていない薬)を使用することがあります。
- ・研究側面が多くなるため、比較としてプラセボ(有効成分の入っていない薬)を使用することがあります。

治験への参加の流れについて



募集中の治験 (平成23年12月末現在)

整理番号	診療科	対象疾患	備考
209018	内科 肝・胆・膵科	進行肝細胞癌	
210008	内科 循環器内科	慢性心不全	
210017	内科 肝・胆・膵科	慢性肝疾患における難治性そう痒症	
210021	内科 下部消化管科	潰瘍性大腸炎	
210026	内科 腎・透析科	透析導入前のCKD	
210027	内科 腎・透析科	透析導入前のCKD	
210028	内科 神経・脳卒中科	パーキンソン病	
210029	内科 下部消化管科	クローン病	
210030	ペインクリニック部	癌患者における突出痛	
210032	内科 下部消化管科	クローン病	
211001	外科 乳腺・内分泌外科	乳癌	
211008	救命救急センター	汎発性血管内凝固症候群	
211009	救命救急センター	汎発性血管内凝固症候群	
211011	内科 冠疾患科	心筋梗塞後の安定した患者	
211016	ペインクリニック部	帯状疱疹後神経痛慢性腰痛等	
211020	内科 肝・胆・膵科	血小板減少症	
211021	内科 肝・胆・膵科	代償性B型慢性肝疾患	
211028	耳鼻咽喉科	耳鳴り	※1月開始予定
211029	外科 下部消化管外科	結腸・直腸癌など固形癌	※1月開始予定
211201	内科 循環器内科	下肢閉塞性動脈硬化症	医療機器
211202	内科 循環器内科	下肢閉塞性動脈硬化症	医療機器 ※1月開始予定
211203	外科 下部消化管外科	消化器外科領域の分割手術患者	医療機器 ※1月開始予定
211701	内科 血液内科	急性骨髄性白血病等	測定キット

平野恵一選手が小児病棟を慰問



平成23年12月16日(金)阪神タイガースの平野恵一選手が、小児病棟に入院中の子供たちを元気づけるため、病院を訪ねて下さいました。

病院にはトレーニングウェア(?)で到着した平野選手。子供たちに会うのにスーツ姿はやはり堅苦しいからと考えてのことなのかと思いきや、すぐに用意していたユニフォームに着替えてくれました。さすがサービス精神旺盛な平野選手だと感激していると「だってユニフォームを着ていないと誰だか判ってもらえないから...」とまさかの自虐ネタを披露。

会場に集まった子供たちはもちろん保護者や関係者は大笑い。

その後のトークでも大いに会場を盛り上げていただきましたが、今年も受賞したゴールデングラブ賞とベストナインの受賞の秘訣は?と聞かれたときには「僕は子供の頃から周りのみんなと比べても



大きいほうではなかったんです。でも人より体が小さい分、神様が人一倍頑張る力をくれたと思っています。その力で何事にも立ち向かっていくことが大切だと思って、今も頑張っています。」と熱く語ってくれました。



その後、子供たちが練習してきた「ジングルベル」をハンドベルで披露してくれることになりましたが、そこに平野選手も急遽参加。戸惑いながらも無事に一緒に演奏することができ、子供たちとともに大満足の様子でした。

その後病室を訪ね、その日参加できなかった子供たちに元気を分けてくださり帰路につかれました。

平野選手をお見送りした後、ある子供は寂しくて泣き出してしまったり、野球だけでなく、プライベートでも子供たちをはじめ、多くの人をひきつける魅力を持った平野選手でした。



急性医療総合センター

進捗状況

平成25年6月のオープンに向け、10号館東側に「急性医療総合センター」の建設が進められています。建物は今年12月に完成予定となっております。現在は建物の土台部分に「免震装置」が設置され、1階の構造体の工事が進められています。

の装置を適切に組み合わせることによってその効力が発揮され、地震後も建物を継続して使用できるように設計されています。昨年12月、設置が進められております免震装置の現場視察が行われました。



この免震装置は地震の揺れを吸収し、小限の揺れに抑えるための装置で、数種類

免震装置とその役割

鉛プラグ入り積層ゴム支承	
1	積層ゴムで建物の重量を支え、内部の鉛プラグで地震エネルギーを吸収する。また、地震後は建物を元の位置に戻す働きがある
弾性すべり支承	
2	揺れが小さいうちは積層ゴムによる揺れの吸収を行い、大きな揺れの場合は積層ゴムがすべり板の上を移動し揺れを吸収する
鋼製U型ダンパー	
3	安定した復元力特性で地震エネルギーを吸収し揺れを低減し、大地震時に効果的に作用する
十字型直動転がり支承	
4	水平抵抗が極めて小さく、免震建物の長周期化(激しい揺れをゆっくりとした揺れにすること)が可能
オイルダンパー	
5	筒状の減衰装置で、オイルが筒の中を流れるときに発生する抵抗力によって免震装置の変形量が大きくなりすぎないようにその動きを抑制する



武庫川女子大学の学生が見学に来られました



1月11日(水)、武庫川女子大学生活環境学部生活環境学科2年生の学生約70名が「急性医療総合センター」の建設現場の見学に来られました。

はじめに現場事務所で本学の施設整備課長から、急性医療総合センターの建設概要および現在設置が進められている免震装置についての説明が行われ、続いて建設現場の見学が行われました。

建設現場では安全面を考慮した結果、免震装置が設置されたピットまで降りることができませんでしたが、その周囲から現場を覗き込み、担当者の説明に熱心に耳を傾けていました。

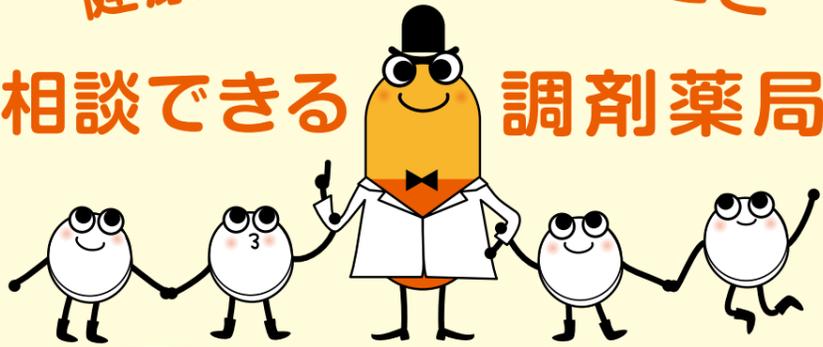
見学後、再度現場事務所で補足説明等が行われ、免震装置の交換を行う時には約22,000トンの地上7階建ての建屋をジャッキアップして行うこと、また、今後は国の重要文化財にも指定されている大阪市中央公会堂では平成11年から保存・再生工事が行われましたが、免震装置を挿入するために建物の基礎部分を切り離して、建物



をジャッキアップした上で工事が行われたことには皆さん一様に驚きの表情をされていました。

健康のこと、くすりのこと

相談できる 調剤薬局



どちらの処方せんでも
受付いたします

開局時間 月～金
8:30～17:30
土(第1・3・5)
8:30～13:30
定休日 第2・4土、
日、祝



兵庫医科大学病院 受付棟 隣り

〒663-8137 西宮市池開町 3-20



あいせい薬局 武庫川店

Tel:0798-44-3577
Fax:0798-41-6400

処方せん受付

N I S H I P H A R M A C Y

Nishi Pharmacy

西薬局

武庫川店

兵庫医大病院の処方せん受付致します！！

患者様のお薬に対する、不安や疑問を解決して、お薬を安心して正しく服用して頂ける様、スタッフ一同 取り組んでおります。

お知らせ

処方せんを、お受け取りになられた後、1号館1階
院外処方せんFAXコーナーより、処方せん用紙をFAXして頂き
ますと、お薬をお渡しするまでの時間が短くなり、
大変便利です。西薬局にて、無料のFAX送信カードを
ご用意致しております。
お気軽にお申し付けくださいませ。

※ 阪神武庫川駅 西口すぐ！！

西薬局

武庫川店

TEL : 0798-43-3232
FAX : 0798-43-3233
月 曜 ～ 金 曜 9:00～18:00
第1・3・5土 曜 9:00～14:00

休日 第2・4土 曜
日 曜 ・ 祝 日
薬局前に P アリ



兵庫医大病院、全国の病院・医院の処方せん、お受けします。



ワタキューグループ 全国137店舗
ワタキュー薬局
武庫川駅前店

月曜日～金曜日 9:00～18:00
第1・3・5土曜日 9:00～14:00

第2・4土曜日、日曜、
祝日はお休みです。

TEL 0798-42-6702

〒663-8131 西宮市
武庫川町2番19P・1ビル1階

FAX 0798-42-6703 無料ファックスカードをご用意しております。

あなたの健康
サポートします。
笑顔で、いぬいに対応いたします。
各種クレジットカードもご利用いただけます。



処方せん受付

兵庫医科大学病院、
全国の医療機関の
処方せんを
受付けております。

お薬の事など、お気軽にご相談ください。
皆様のご利用をお待ちしております。



武庫川店

[営業時間] 月～金 8:30～17:30 第1・3・5土 曜 8:30～13:30
[定休日] 第2・4土、日、祝日
TEL.0798-44-3029 FAX.0798-44-3039



[営業時間] 月～金 8:30～17:30
[定休日] 土、日、祝日
TEL.0798-42-3080 FAX.0798-42-3081

武庫川駅前店

より良い医療サービスの提供がすべてです。



株式会社 阪神調剤薬局

http://www.hanshin-dp.co.jp

市民健康講座のお知らせ

開催日	テーマ	講義者
2月1日(水)	胸痛を感じたら	内 科 主任教授 大柳 光正 冠 疾 患 科
2月22日(水)	喋りづらい! 力が入らない! それって脳卒中かも!?	看護主任 清水 真幸 (救急看護認定看護師)
	がんと向き合う ～家族としてできること～	看護師 乾 貴絵 (緩和ケア認定看護師)
3月7日(水)	肺癌の外科治療	呼吸器外科 講師 近藤 展行
3月28日(水)	炎症性腸疾患とは・・・	内 科 助教 横山 陽子 下 部 消 化 管 科

開催場所・時間 10号館3階 第3会議室 15:00～16:30
申込み不要、参加費不要

お問い合わせ先 兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター
電話番号: 0798-45-6035(直通)

看護師・助産師募集

じぶんの色 きっと見つかる。



WE SET
SWEET

心地よい療養環境・ケアの提供を目指しています

SWEETとは、私たちが心に備えたいと願う5つの要素の頭文字。
看護部ではこのキャッチフレーズのもと一丸となって、チーム医療を支えています。

- Sincerity 誠実(な行動)
- Warm あたたかい(対応)
- Evidence 根拠ある(実践)
- Ethics 倫理(的感性)
- Technique (確かな) 技術



兵庫医科大学病院

人材対策室
フリーダイヤル 0120-456-199

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号 看護師・助産師採用ホームページ
TEL 0798-45-6543 FAX 0798-45-6524 http://www.hosp.hyo-med.ac.jp/nursing/recruitment/